TRI-SEMANAL No. 3099 São Paulo, 2 de Março de 1951

NOTICIAS DO BRASIL

Redação e Administração - Rua Heliotropos, 127 - Caixa 3148

伯剌西爾日報

發行所 伯剌西爾時報社
聖市エリオトロポス街二七
郵函 三一四八
社長 鳳石貴作
郵送料 月、水、金發行
一ケ年 二百四十ミルレース
一ケ年 百二十ミルレース
一部 二

Livraria Miyamoto
C.P. 1052 São Paulo
宮本書店
本店聖市 ビネイロス
支店聖市ベジンガを
書籍・雑誌レコード・
教科書事務学用品

對日講和

愈よ第二段階に入る

ダレス顧問の狙いは二つ

講和と太平洋同盟の樹立

ソ支二國の參加は有り得ず

【ワシントン廿七日AFP】ジョン・フオスター・ダレス氏のワシントン歸還によつて、對日單獨講和の下準備工作は第二段階に入つた、ダレス氏はツルマン大統領並にアチソン國務長官に報告書を提出して後、國務省極東課長デイーン・ラスク氏と共に對日講和條約の草案を作成することになつており、作成に若干の期間を要するが、これをいまだに對日戰爭狀態にあるすべての國々に送つて意見を聽取する筈である、ダレス氏がもう一度對日講和に關してソ聯に協議することは恐らくあるまいと見られ、固より支那には諮問する筈がない（寫眞はダレス氏）

ダレス氏歸米

重大使命を果して

【ワシントン廿五日AFP】ツルマン大統領より委任された使命を極東で果した大統領特別顧問ジョン・フオスター・ダレス氏は當地に歸着したが

我らの使命は太平洋の平和と協力を促進強化しようとするものであつたと簡單に述べた

講和條約起草

米國首腦者達と會談

【ワシントン廿六日UP】對日講和の討議を促進すべくツルマン大統領の使命を帶びて、極東及び太平洋地域の主要都市に五週間滯在して昨夜空路當地に歸着した國務省顧問ジョン・フオスター・ダレス氏は、今日から對日講和條約起草に關してツルマン大統領始め米國首腦者達と會談を開始することになつているが、ソ聯の對日講和參加不參加の二方式の討議々進められるものと見られる

戰爭誘發者の冒險に「斷」

米大統領、國聯の措置を賞揚

【シカゴ廿五日AFP】國聯支持米國協會の會議が今日から當地にて開催されたに際し、ブルマン大統領は開會々長宛のメツセージ中で、國聯の朝鮮における公正な態度と自由世界がとつた防衛措置により、挑戰者達の世界を新戰爭に捲き込もうとする冒險を阻止することが出來るであろうと述べている、更にツ大統領は、米國は過去においてもそうであつた如く今後も世界各國間に存在する幾多紛爭問題の圓滿解決に全力を傾注するものであると附言し、尙後に侵略行動によつて示された我々の措置に鑑み、國聯が斷乎たる態度で行動し來るようになつたことに祝辭を呈している

十万の歐洲派兵

第三次大戰を惹起せん

フーヴアー元大統領 重大警告發す

【ワシントン廿七日R】ハーバート・フーヴア元大統領は上院の外交軍事兩委員會々合席上で米兵の歐洲增派に關して意見を開陳した際

「ロシアは僅かに廿日間で歐洲を支配することが出來るであろう、米國兵の四ケ師團增派は大戰序幕へ一步を進めるものである」とその危險を指摘し西歐統一軍へ十万の米兵派遣に極力反對した、然乍ら西歐の防衛は百万至百廿五ケ師團以內では事實上不可能であるが、かういつて米兵の增派は危險へ一步前進し、恐らく第三次大戰を惹起する恨れがある、故に大戰防止唯一の策は、開戰の場合ロシアを一擧に壞滅出來る强大な空海軍を組織することである、と言明した

反國家陰謀

チエツコ共產黨 幹部を追放

【プラーグ廿七日AFP】資本主義政体を復活させようとする陰謀があつたと同時報相は語り、一ケ月前謎の逃亡をしたクレメンテス元チエツコ外相はフラ スのためのスパイであることが判明し 家の大反逆者として同外相他數名の者が逮捕され 閣當局で發表されている 一方チエツコ共產黨より多數相當の黨員が反國家思想者と見做されて追放された

新大戰起らば

ソ聯心臟部に一擊

スタツセン上院議員警告

【シカゴ廿七日R】ヨーロツパ防衛のためになすアイゼンハワー將軍のいかなる要請にも我々は支持を與えるものである」と、元ミネソタ州知事で共和黨の指導者たるハロルド・スタツセン上院議員は昨夜當地で言明、更に 若し第三次世界大戰回避の希望が失われた場合、我々は容赦なく卽時ロシアの心臟部へ突入して一大打擊を與えなければならぬ」と述べたが、一方次の五つの理由によつて平和實現の望みを持つていると語つた一、鐵幕背後に於ける不安な狀態 二 强大な米國空軍の威力 三 西歐における米國の富力 四、アジア アフリカ大陸非共產系諸國の援々としてはいるが、確固たる向上進步に期待 五 高度の生產力を有する强固な米國經濟力

秘境西藏への旅

中央アジア邊境を彷徨すること八年

(2)

夜が白々と明けて來た頃 乘るや、鞭で駱駝をひつぱ 起きて見ると、すぐ眼の前 たきながら、南の方へ逃げ にお寺のような建物が見え た。山裾の方へ逃げ込んで た。道案內の爺さんを起し 山の凹凸のひつこんだ所に て尋ねると、これは大變だ 躰をひつつけるようにして という。それは中央軍の國 寢て隱れながら覗いて見る 境警備兵の司令部のある事 と 馬に乘つた支那兵が だと云う。私達はその眞前 私達の通つた跡を走り廻つ に行つて泊つた譯である。 ているのが見えた。

慌て、跳起きると駱駝に荷 それから狼山々脈を南へ 物を乘せて、その背に飛び 橫切つて寧夏の大沙漠へ入つたが、この沙漠は北から 南へ拔けるのに 一ケ月かゝる位、物凄く廣い沙漠である。この沙漠には三、四米位の高さのザクという木が處々に森林のように集つて生い茂つている。その森林の中に部落がぽつ〳〵あるが、その或る部落に蒙古人の回教徒がいた。蒙古人は全部佛教徒で 回教徒は居ないと思つていたが この時初めて蒙古人の回教徒を見た。女は黑い布を頭にかぶつて 背後へ長く腰の邊まで垂らしていた。

この沙漠には墟の澤山とれる湖水があつて 何百何千という駱駝が首にガラン〳〵と鳴る鈴を下げて夜晝なしに墟を運んで行く。

—草原を行く密偵—

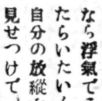
或る日のこと、一面の雪の原野の眞中に支那兵が一人立つていて、私たちに「止れ！」とどなつた。「何處から來た」とどなつているる。私たちの同勢は卽發頭は俺は脫走兵なんた」と白狀じた。五原がら脫走して中から道伴れになつた支那兵のうまい蒙古人が加わつていた。兵隊に誰何されて私は支那語のうまい蒙古人に「適當に答えて置け」と言つてどん〳〵駱駝を急がせた。內心、これは引つかゝるかなと思つたが、その夕方、私たちは土地を選んで雪を掻きのけ、天幕を張り、お茶を沸かしていると現れたのが先刻の支那兵である。ギクッとした。向うは英迦に威たけたかであるお茶を飲ませたり、殘餅を食わせたりすると、段々柔かになつて 終いには「貴は俺は脫走兵なんた」とどなつたり、なか〳〵よく働いてくれた。

長篇小說

春の門

丹羽文雄

(20)



「たゞ君に註文したいことは、自分の浮氣のために周圍の者に謎惑をかけないで欲しいことだ。浮氣なら浮氣でこつそりやつたらいたいんだからね。自分の放縱をあつぴらに見せつけて、まだその上に別のひとにまで手を伸ばそうとするなんて 呆れはてた男だ」

「それだけか、云いたいことは、それだけかね」

「これだけさ。これだけ自分の口から言つただけでも 僕としては 胸塞が惡いよ」

「嘘つき！」

「なに！」

久美は膝中を壁に押付けて、中腰になり 口の中へ手を押しこむように當てがい、怯えてしまつた。

「殿るか—

立ち上りかけたが、小牧はまた坐つた。そして、頭を振つた。久美は息をとめていたが、ほつとした。がまだ油斷は出來なかつた。

「僕は、何もかも知つているんだよ。君は福子を僕にとられて口惜しがつているんだらう。腹の中では、うんと口惜しがつているんだらう」

「馬鹿、何を云い出すんだ」

「嘘つけ 僕はすべてを聞いているんだ。どんなに君が福子を愛していたか福子の口からぢかに聞いて知つているんだ」

かあつと、からだ中を火の柱がつき貫けた。火の走つた跡は、そのまゝ狂亂な風が吹き拔けたようだつた心臟が次の瞬間とまつてしまうのではないかと、めちやめちやに打つた。眞靑になつていた。激しく虛脫していくものがあり それが精神的にも、肉體的にもよく判つた。

「そんな馬鹿なこと、福子さんがいふわけがない」

ひとり言のようになつた言葉の出來ない、惨めな顏になつた。

「そんな馬鹿な……」

「ごまかしたつて、駄目だ僕は福子の口からはつきりそう聞いているんだ。卑怯な男だ。何故堂々と僕と爭はなかつたんだそういふ變にじめじめした、優柔不斷な男は、僕は元來大嫌いなんだ」

氣のてんさうしている小牧の耳には 謙作の毒舌はよく入つて來なかつた。目は開けているのだが、その目は何も見ていなかつた。兩拳を膝につつ立て、着物の一部を摑んでいた。虛を衝かれた狼狽は、かくし切れなかつた。心一杯で、謙作の言葉をねじ伏せようとしたが、もはやその烈しさは反撥の烈しさはなく、歎願に近い努力であつた。

僕はこれか 麹町に歸るんだが、久美ちやん とにかくここを一緒に出よう」と謙作が誘つた。

「時間だつて遲いんだよ」

謙作さん、先に歸つて頂戴

「小牧、惡く思ふなよ。いきがかり上、言はなくてもいいことを口に出したんだが 腹の中は案外それほどでもないんだ。こだわつてくれちや困るんだ。君と福子が幼馴染であることは確かなんだからね」

「福子さんは、本當にそんな事を云つたんだね！」

「僕の強感が當つたまでなんだ。前からそうぢやないかと疑つていたんだよ 肌いてみたら 幼馴染以上の感情もあつたと白狀したんだ。それだけさ。まさか僕にしたつて、君が人妻の福子をいつ迄も慕つているなんて本氣には考えられないからね」

「よし判つた。とに角君は歸つてくれ給え」

「歸るよ、歸るが、そうむきにならないでほしいんだ」

小牧は何でもない證言を立て、歸つていく謙作を自分には全く違つた人種のように感じた。そのまゝ頂垂れて、始末の出來ない胸の中を始末しようと努めた久美はそんな小牧を永い間默つて眺めていた。

ふと氣が付いたように小牧は顏を擧げた。

「久美さん」

目が合ふと、今にも久美の顏が泣き出しそうにゆがんだ。

Electra -O MELHOR RELOGIO SUISSO
Joalharia Casa Castro
Rua 15 de Novembro, 28
S. Paulo

寶石商
カーザ・カストロ
弊店は約三十年以前より日本人諸賢の信用と好評を蒙つて居ります

良く効く 信用最大
樂八
パウリスタ製藥会社製造
強壯劑 ・フィガビトール・
整腸劑 ・コンビラクト・
風邪藥 ・ペセペ印アスピリン
其の他何んでも藥は ペ・セ・ペ印を
內外藥店で お求め下さい
各種藥 PCP ペ・セ・ペ印
PROD. CIENTIFICOS PAULISTA LTDA.
CAIXA, 3656, S. PAULO.

料亭
本店 サンパウロ市グロリア街一〇三番 電話 三三—七七〇七番
支店 サントス市アベニダ・エピタシオ・ペソア八一番 電話 四—一六〇八番

女給さん募集

聲明書
先般小牧儀山岸事件の余波を喰い何等關係無きにも拘らず、密告により投獄されしも幸に當地警察署に於ける公明正大なる審判により今回釋放されし通り大日本國民前衛隊とは何等關係無かりし事を茲に聲明致します
追白
留守中は皆樣方に多大の御同情御配慮を頂き誠に有難く存じ上げ茲に略儀乍ら紙上を以て厚く御禮申上げます
二月拾四日
マリリア市コロネール・ガルヂーノ街百參拾番
高橋貞吉

お知らせ
日本人農家の皆樣一大福音
弊店では今回特別サービスとして二月中は農藥品の値下げをして皆樣へ提供致します

過燐酸二十—二十一% 一、一九〇、〇〇
サリトレ・ド・シーレ 一、七〇〇、〇〇
壞酸加里 六〇% 一、三五〇、〇〇
硫酸加里 二、五〇〇、〇〇
骨粉 一、四〇〇、〇〇
硫酸アンモニア 二、四〇〇、〇〇
混合肥料ガロア印 一、七〇〇、〇〇
その機會を是非利用して二月中に御買上げ下さい
三月一日より事情により値上げ致します
IMPORTADORA AGRO-PECUARIA LTDA.
Rua Itapura de Miranda, 23 - Fone 33-3674 - 33-4687 - End. Telegr. «GAROA»
SÃO PAULO

科學性の奏効力三倍以上 無痛 無痕
灸頭鍼療
連邦大學鍼灸支部長 免許 磯谷鍼灸本院
マリリア新バス街三三一
婦人科 外科專門
小兒科・內科（靜注射治療）
ドットール エ・サンターナ デ・アルメイダ
リンス市 リオブランコ街五五二 電話六七
日本人通譯が居り夜間も受付け親切に御世話致します

神戸丸船員名簿

別稿で詳報の通り去る二月廿八日午後のサントス埠頭は神戸丸を迎えんとする全腕によつて埋められ、ボンタ・ダ・プライアには沖合に本船の姿を望めんものと百の全艙が讃集した午後四時愈々本船が港内にさしかゝつた頃には、ランチやモーター・ボートを借切つて繰り出したこれ亦數百と算せられる全腕が、本船の舷側を取圍み、徐航する本船と舳艫相衝んで此間地点まで隨航するといふ熱狂的歓迎ぶりを示した、これには船長始め乘組員一同も大いに感激していたが、殊に船長谷口宗次郎氏は卅年前練習生として來伯したことがあり、外に四、五名既に來伯した船員が混つている、乘組員總數は五十五名であるが、在伯全艙中には必ずや親戚や知人に當る人があると想像されるので、參考までにその氏名表を掲げておく

職名	氏名	生年月日	現住所	本籍地
船長	高津源吾	明治43、2、1	茨城縣下館町本城町	茨城縣水戸市
一航	篠崎敏雄	大正3、11、24	神戸市東灘區住吉町鍋島	福井縣坂井郡
二航	田島寅雄	大正15、2、28	名古屋市昭和區長戸町	名古屋市
三航	山田英雄	大正14、9、5	札幌市宮ケ丘町	新潟縣岩船郡
機關長	谷口宗次郎	明治31、1、25	佐賀縣唐津市坊主町	福岡縣糸島郡
一機	赤川貞夫	大正2、2、25	神戸市垂水區垂水町	山口縣防府市
二機	平山讓	大正8、11、7	新潟縣岩船郡岩船町	上に同じ
三機	善田厚二	大正15、3、1	石川縣江沼郡橋立村片野	上に同じ
次三機	吉田和雄	昭和2、10、19	都島市五ツ	上に同じ
一通	田中美由	明治40、12、11	長野縣東築摩郡五常村	長野縣北安曇郡
二通	志田順一郎	大正12、6、8	新潟縣岩潟市西大畑町	上に同じ
三通	中松榮	昭和、10、1	石川縣球洲郡西海村	上に同じ
事務長	西原清貫	明治44、5、17	高知市本丁筋	高知縣吾川郡
員外事務長	佐藤幹雄	大正5、4、26	東京都品川區北品川	上に同じ
同	家田啓三	大正8、12、2	大分縣下毛郡鳥坂村	新潟縣北蒲原郡
船醫	藤枝賢暁	大正14、4、8	東京都武藏野市吉祥寺	東京都新宿區
甲板長	鈴木鑑五郎	明治32、7、6	福井縣坂井郡金津町	福井縣丹生郡
甲板庫手	藤原武雄	明治43、1、3	富山市田刈屋町	富山縣中新川郡
船匠	高木儀太郎	大正5、3、1	岐阜縣小牧郡岩手村	岐阜縣養老郡
操舵手	眞谷公輝	大正10、11、23	石川縣鹽平郡朝旭村	上に同じ
〃	小池由次郎	大正1、8、7	新潟縣北蒲原郡乙村	上に同じ
〃	大串義雄	大正12、8、17	新潟縣岩船郡岩船町	上に同じ
〃	坂谷義數	大正14、3、30	福井縣南條郡河野村	上に同じ
甲板員	井上辰夫	昭和3、2、3	山梨縣中巨摩郡小笠原町	上に同じ
〃	西原健	昭和2、3、25	福島縣相馬郡駒ケ峰村	上に同じ
〃	西野義明	昭和〇、3、7	石川縣金澤市長土塀町	金澤市英町
〃	加藤圖男	昭和4、1、25	青森縣下北郡大畑町	上に同じ
〃	森田弘	昭和5、7、17	大阪府中河內郡加美村	岡山縣久米郡
〃	近藤三代太	昭和4、9、1	北海道石狩國上川郡鷹栖村	上に同じ
〃	上田務	昭和4、8、31	敦賀市三島	上に同じ
〃	高橋恒信	昭和5、12、13	新潟縣北蒲原郡五十公野村	上に同じ
〃	西田春正	昭和8、1、10	富山縣東礪波郡南般若村	上に同じ
操機長	村川豊	明治29、1、14	香川縣小豆グン西村	新潟縣佐渡グン
機庫手	摺出象次郎	明治39、3、27	富山縣高岡市新湊	上に同じ
操機手	井上修	明治39、3、10	京都府中京區壬生相合町	京都府船井グン
〃	齊藤勝四郎	大正3、12、10	新潟縣北蒲原グン松崎濱村	上に同じ
〃	時任正七郎	明治43、2、25	神戸市垂水區小區塚屋町	上に同じ
操罐手	山崎作一	大正12、5、31	新潟縣中蒲原グン五泉町	上に同じ
〃	中尾繁密	昭和2、1、14	鹿兒島縣川邊グン西南方村	上に同じ
〃	櫻井静美男	大正15、11、17	新潟縣古志グン富曾鄕村	上に同じ
機關員	青木博敏	昭和2、10、20	新潟縣南魚沼郡中ノ島村	上に同じ
〃	坂元和雄	昭和3、11、14	石川縣羽咋グン志雄町	上に同じ
〃	坂島芳夫	昭和3、9、20	新潟縣島田市大町	上に同じ
〃	高木昭介	昭和2、8、19	金澤市長坂町	上に同じ
〃	阿部功	昭和6、2、15	山形縣飽海グン南平田村	上に同じ
〃	山崎昭吾	昭和5、2、22	新潟縣中蒲原グン横越村	上に同じ
〃	松岡勝美	昭和7、8、27	名古屋市北區福德町	名古屋市東區
司厨長	池内登業吉	明治45、1、5	北海道小樽市綠町	國頭郡
調理手	臼井君雄	大正1、11、17	新潟市本町通り	新潟縣北蒲原
調理員	五十嵐義雄	大正15、2、4	新潟縣岩船グン鼠川俣村	上に同じ
〃	桐生四郎	昭和7、9、2	新潟縣北蒲原グン乙村	上に同じ
司厨手	細矢秀夫	明治43、3、6	福井縣敦賀シ境	小樽市
司厨員	長尾敏美	大15、1、10	大分縣毛グン三鄕村	上に同じ
司厨員	長谷川泰三	昭和3、12、20	新潟縣三島グン深財村	上に同じ
司厨員	東春夫	昭和5、4、30	三重縣志摩グン磯部村	上に同じ

Escritiorio Contabilidade
Rua Barão de Duprat, 181 - S. Paulo
重寛山當 會計士
理務整事會計士 一般帳簿諸會計 謹切取扱ひます

洗濯機 月賦販賣
最新式洗濯機中型、手廻又は電氣脫水機ジョウ氣アイロン 山本義美
電話ヴェノ・デアンドラーデ九七 電話三六・三八四二
東京神田ヶ身 小田切

古綿打直し
電市リベルダーデ區 シケイラ・カンポス三三四

急募
壯健なる十五才より廿五才までの青年 二名
右御希望の方は至急左記宛御來談下さい
マリリア市コロネール・ガルジーノ街百拾番 パール高橋

少年數名募集
ルア・マエストロ・カルデン一二二八 電話 三一一七九三二 大谷印刷所

SERALHERIA MARTELLO LTDA.
TAKESHI NISHIYAMA
Rua PERO NETO, 11
Bosque da Saude S. Paulo
熟練工 一名
カシレーロ 一名
右至急雇いたし
詳細は左記へ面談の上
西山鐵工場
ルア・ペロ・ネット一一 ボンデ二三終点

招待状
祖國より十ケ年振りにて日本船神戸丸が入港致しました、就ては在伯同胞としてささやか歓迎の微意を表したく左記要領により歓迎會を催したいと存じますから何分萬障御繰合せの上御參會賜りたい
三月一日
主催 サンパウロ在外事務所
後援 各邦字新聞社
記
一、日時 三月三日（土曜日）午後一時
一、場所 サクラ倶樂部
一、會費 百五十クルゼイロス
在聖市及近郊邦人各位

御禮
鳥井勘次、隆秀及び隆次親子三名に對する强制執行差し押え事件に關してはカツポン・ボニート裁判長殿より、不肖小生差し押え物件の法定管理人に任命せられ忠實に任命を完了しました
然るに鳥井隆秀は無暴にも小生に對し差し押え物件の販賣即ちバタタの販賣値に對し競賣の方法を採らず友誼的販賣に不服なりとし既に一昨卅八月閉店せる聖市某商店のノータを裁判所に提出して虚僞の申立てをし小生に對し損害賠償の訴訟を起したのであります、然るにカツポン・ボニート地方裁判に於て敗訴となりたる爲更に控訴院へ控訴の手續を取りましたが裁判長は右控訴を拒否されたのであります
然る所私怨を深めた彼は卑怯にもその數量に相違ありとして之警察及び檢事局へ訴えたのであります、審理の進むに從い右訴訟が事實無根なること判明し檢事の明察により裁判の當日檢事自身が無罪を主張せられ公明正大なる裁判長の判決により遂に去る十二月十四日寃罪（イノセンシア）を認められ約八ケ月に亘つた右の事件も遂に最後の判決が下り正しき者は遂に勝つたのであります
該問題に對し終始獻身的努力を惜しまず犧牲的に辯護の勞を盡くされし村上智辯護士の高潔なる人格に深甚なる感謝の意を表すると同時に陰に陽に御心配と御聲援を賜りしカツポン・ボニート方面在住者各位に對し衷心より茲に御禮申上げる次第であります
斯る不義不遜の徒に對しては社會的正義の爲め後徹底的に法に從いようようする覺悟であります
一千九百五十一年二月二十日
五島一成
カツポン・ボニート在住者各位

急募
一、青年事務員 數名
御希望の方は
本社營業部迄

尋人
尾曾納一氏妻 尾曾華子
右の御方に對し目下東京在住の肉親藤岡綾夫氏より外務省を經て現住所を尋ねて來ていますから至急本社まで御通知を願います
伯剌西爾時報社

大阪商船會社指定
船舶食糧品並に船具御用達
小淵商會
サントス市プラス・クーバ街二六六

三笠旅館
サントス市プラス・クーバ街二六六
電話 二一 九五八
郵函 六五七

伊藤旅館
カンビーナス市メルカード上
清潔・親切・實費

◎神戸丸の岸壁捲づけは多分五日 月曜 朝になる模樣であるが、荷役に四五日を要するから、參觀希望者はあまり慌てゝ押しかけず、來週になつてから悠つくりと出かけ、正規の手續をとるようにするがよい

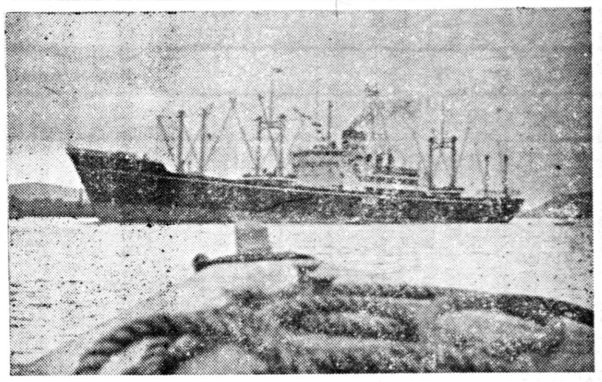
◎神戸丸入港に關する當地の豫定」とサントス市三笠ホテル主小淵友市氏宛毎圖より通信があつた

◎神戸丸はサントスの荷揚げ終了次第再びプエノスに引返し 棉花 ケブラッチョ等を滿載して一路日本へ寄航することになつているがこのケブラッチョというのは極めて堅い木材で一大朗報かもたらされて來た、即ち神戸丸姉妹船ヶ阪丸に關する情報がそれで、「神船は既に去る一月廿七日香港を出帆ダーバン經由で一路伯國に向つた、サントス入港は三月十一日頃との豫定」とサントス市三笠ホテル主小淵友市氏宛毎圖より通信があつた

◎神戸丸はサントスの荷揚げ終了次第再びプエノスに引返し 棉花 ケブラッチョ等を滿載して一路日本へ寄航することになつているがこのケブラッチョというのは極めて堅い木材でタンニン劑の原料、また燃料としては絶對無煙、シュラスコには持つてこいだそうである

◎聖市リベルダーデ街五一番でピシヨ屋をやつていた青木リヨージさん ピシヨ探偵旋風のアフリを喰つて閉鎖れさたが、これでは厭の食いあげ、再開を許可した上 コマンドを嚴罰に處して欲しいと警察に逆ねじを喰わせている、ロテリアだけ寶つて喰つて行けよう新潟縣古志グン富曾鄕村 新潟縣南魚沼郡中ノ島村 石川縣羽咋グン志雄町 新潟縣島田市大町 金澤市長坂町 山形縣飽海グン南平田村 新潟縣中蒲原グン横越村 名古屋市北區福德町 國頭郡 新潟縣北蒲原 上に同じ 京都府船井グン 上に同じ 新潟縣北蒲原グン松崎濱村 上に同じ 神戸市垂水區小區塚屋町 上に同じ 新潟縣中蒲原グン五泉町 上に同じ 鹿兒島縣川邊グン西南方村 上に同じ 新潟縣古志グン富曾鄕村 上に同じ 新潟縣南魚沼郡中ノ島村 上に同じ 石川縣羽咋グン志雄町 上に同じ 新潟縣島田市大町 上に同じ 金澤市長坂町 上に同じ 山形縣飽海グン南平田村 上に同じ 新潟縣中蒲原グン横越村 上に同じ 名古屋市北區福德町 東區

日の感激を刻む歴史



海運日本の誇を乗せて昨日入港の神戸丸を待つ

サントス港に沸く歓喜に曇はくもれど空は

十年間見なかつた日本船が愈々着くというので廿八日のサントス市は早朝から在伯全胞のオンパレードであつた　街頭にメルカードにホテルに全胞の相寄るところは神戸丸の話で持切り、各々の友人や知人や家族で早くもランチや小蒸気を傭約する等で　サントスのコロニアは日本船デーであつた、しかも各埠頭からこの記念すべき日を目の當りみる可く長蛇するものもあつて港のニギワイは一しほと見えた、只残念なことにはあまりにも日本船舶問希望者が多く、港務當局では混雑を恐れ岸壁へ神戸丸が繋留される迄は一般人の船内観覧は當日禁ぜられ、僅かに報道陣の第一線のみの人々が乗船を許された

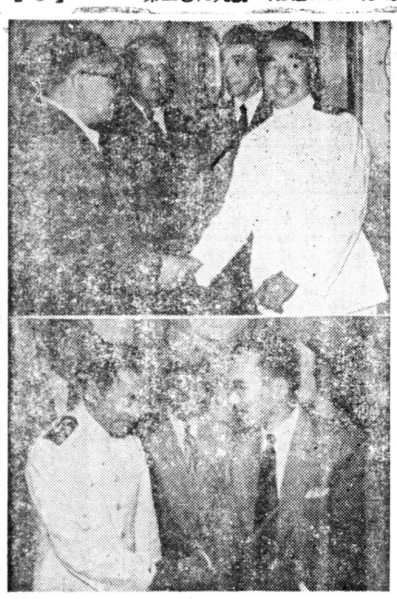
二十八日は早朝から小雨まじりの曇り空で降りみ降らずみであつたが、豫定より四時間おくれて午後四時よりうやく晴れそめたサントス港へ神戸丸はその秀麗な姿を表した　それとばかり一乗船出來ぬ迄もその懐しの船體を見よつと待ち構えていた人々は、ランチに小蒸気に乗り込んで徐航する神戸丸に從つて追つていく、いずれもが万歳を唱えレンソを振り手を挙げて歓呼の聲のコーラスに花火をうち上げるものもあり、漸く三十米十米の近さに接近して來た、それこそ手を伸ばせばとどく距離の母國船を歓迎するのであつた

アッ！日の丸だ！

見つめる眼に光る感激のしずく

未だ講和條約締結前のことて懐しの日の丸の旗は船尾に掲げられていないが思は全じ船員の一人はさつとばかり船橋から日の丸の大團旗を振り上げた、一度二度三度かくて神戸丸の周圍につどつた人々の眼には感激の涙が浮んだのである　かくて午後四時半殆んど税關前の沖合に神戸丸はその錨を投じたのであつた

待つ事暫し税關水上署の船内臨檢終了すると共にやつと記者團の入船を許されたタラップふんで上つて行く記者團を今ぞふむ日本船體



全伯在（右）へ長船高津船長（上）寫眞
ようこそ（左）長所崎野代表して挨拶する時報社に代りて挨拶する者記者紙本（下）

餘滴

日本の延長の地をふみしめるや心に　燃えあがる感傷の心に　流石に眼に熱いものをにじませた記者團一行をじつと迎える船長以下の五十五人　この時両者の心と心は全じ血の流れるものとしていみじくも一つと溶け合つたのであつた　やがてこれも入船した野崎仕外事務神長と船長をかこんで種々の話の糸はほぐれて來た

入船してすぐ當直に來た港務の伯人連美しいたこと氣のついたことは船内の如何にも清潔なことて、貨物船とはいゝながら、小ざつぱりした所、下手な客船以上てある、日本歸りのお客も六人だけ乗せて行くがこれなら樂しく歸れよう　但し切符は十九コントス位かゝるそうてある

■船長高津氏は四十代の男盛り、一寸南銀の齊藤助三郎氏によく似しいるので　初對面とは思われぬと、同船某紙記者云う

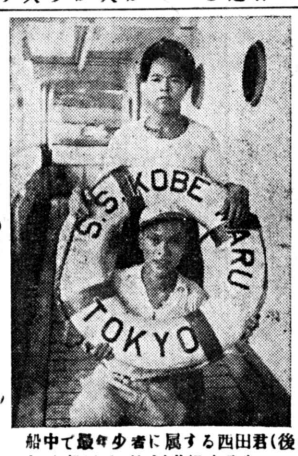
■當地に來た港務の伯人連美しいフオリニアとマッチをもらつてニコ〳〵、歓問の記者團もサクラ●ビールを一杯づつ振まはれ、ニコニコ　大いにアッセンした野崎氏もえニコニコであつた

■船員というものは「荒つぽい」者というのが昔から通り相場になつているが　神戸丸乗組の所謂船乗りと呼ばれる甲板部員や機關部員その他コック　ボーイに至るまで、何れも血氣盛な廿代の青年で占められているにも不拘、荒つぽい感じなど毛頭なく、態度といゝ、實に和やかな立派なものである、平和日本の海運界を代表して七洋を股にかける海の男の子達のこの外柔内剛こそまことに頼もしい限りである

■日本は過剰人口のハケ場がなくて苦悶している、一人でも多く海外に出ることが唯一の解決策である、ブラジル在住の同胞間には永久歸　希望者が多數あるそうだが　そういう人々は、どうか心をひらがえし、永年曾々として築いた地盤を守つて永住の決心をつけて頂きたい、これは全じ血に緊がる全胞の一人として、私が衷心から皆様に捧げる進言してある、と高津船長が語つていた

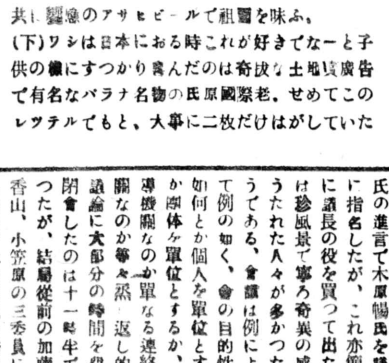
待つ船のこた

尾船の丸戸神る見より後方



船（後）西田君る属に者少年最中で
方）と松岡君（前）共に十八歳

アサヒビールの満を引く



寫眞（上）一役目濱んだ野崎總領事と長和田所員等と共に鏡邊のアサヒビールで祖國を味ふ。
（下）ワシは日本におる時これが好きでなーと子供の時にすつかり濱んだのは奇抜な土地柄で有名なバラナ名物の氏原國際老。せめてこのレツテルでもと、大事に二枚だけはがしていた

「船の航行中に、操舵室の窓から日の丸の大國旗を振られた時に歓迎の人達は泣いて喜んでいましたよ」と本紙記者より聽を云えば「そうでせうね、何しろ講和前のことですから日の丸を掲げる事は許されませんが私共は海々に入る時は海運日本の意氣も高らかに、この心に日の丸の旗を打立てるのです、ですが今日は在伯同胞の皆様のこゝを思へばあゝして船窓から日の丸を振らずにはいられなかつたのです」と折から晴間を見せた青空をながめつゝいと×は早くも船橋をかけ上つて日の丸の旗を持つて來た、やがて一團日の丸の旗を中心に滿面笑顔にほころばせながら仲よく並んだが、シヤツタ押す記者の全身は喜びの中にも一瞬厳肅の感に打たれたのであつた

心青空の如し

神戸丸概要

待望の日本船神戸丸は遂にそのスマートな船体をサントス港に現わした

神戸丸は一九四九年起工、翌一九五〇年十月三日完成した新造船で、総工費四億圓（戦前の二十倍）造船技術の粋を凝らして建造されただけに　貨物船とは云え外観も感じのよい瀟洒さを持ち、内部設備もまた隅から隅まで完備している　戦前の大阪商船サントス丸型より稍小型と思えば間違いはない　船主は日本海運株式會社であるが大阪商船の傭船として運航されたので煙突にはＯＳＫの「大」のマークが大書されている。同船の機能其他の大略は次の通り

船名＝神戸丸、國籍日本　登録港＝東京　総噸數＝六六〇九、〇三噸　登録番號六六六八四（SCAJAP NUMBER ＝K三三二、スキヤヂヤツプ●ナンバー）　乗組員五十五名（中船長以下士官十六名）一等船客用船室六（今回の處女航海に際しては船客はなかつた）　積載貨物＝サントス港向け、硫安肥料及び雑貨二、三四五●六〇噸、死重八、五一五●〇九噸、出港噸＝横濱一九五〇年十二月廿四日、寄港地名古屋、門司、大阪、神戸（積荷）シンガポール（燃料補給）ダーバン（燃料補給）ブエノス●アイレス　荷揚げ）歸港＝再びブエノス●アイレス（積荷）を經て一路日本へ最高速力十五浬、普通速力十三浬、經濟速力十二●五浬

牛の歩みで行こう

コロニア連絡機關

辛うじて流産を免がる

漫々的漫々的

コロニア連絡機關創立準備委員部の第二回集會が去る廿七日櫻倶樂部で開催された　第一回の會合には地元卅八名、地方廿九名　合計六十七名の出席者があり、その内閣南卅八名を悉く創立準備委員とするという事に一決した筈であり、從つて今回も亦右三十八名が出席すれば事足りる筈であるにも不拘、此間は頗ぶれを變え人數を増して四十八名の人々が招集された、但しその中出席した者は僅か廿五名（中二名は地方よりの傍聽者）その他度人數が減少している　出席者は左の通り到着順）

加藤好之、小笠原喜一、香山六郎　高岡專太郎　岡專太郎　高橋誠敏　篠原万造　管讓次　橋本末記　城間善吉　金子豪　加藤安友　梅田久吉　多田榮　郎　木願暢　有馬識之助　須貝貞

四十八名中僅々廿名そこ〳〵の出席者しかない、これは明らかにコロニアが連絡機關に熱意を持たない証據だと認める　と暗に小田原評定の無益であることを指摘したに對し山中進行係はこれを反駁し集合者は五人でも六人でも開わね、決議するのではないのだから、集合した者が決めたことを更に諮問するということてよいではないかと大いに奮戦、流會食とめに躍起となる、次いで山中氏の進言で木原幅氏を議長に指名したが、これ亦例單に議長の役を買つて出たのは珍風景で寧ろ奇異の感にうたれた人々が多かつたようである、會議は例によつて例の如く、會の目的性格如何とか個人を單位とするか團體を單位とするか、指導機關なのか單々紙　返し的な議論に大部分の時間を費し閉會したのは十一時半であつたが、結局從前の加藤、香山、小笠原の三委員に新に山中、木原両氏を委員として加へ右五委員が更に專門的に宜る委員、三名を選考して創立準備を繼續するということてケリがつき辛じて流會をまぬがれた　詳細は紙面の關係上次號にゆづる

お知らせ

本社が豫てより注文していたドイツ製最新式超高速度印刷機が一昨日着荷致しました　近く据附け開始の筈定であります

感激の「日の丸」まる

サントス港内を徐航する神戸丸の最上甲板から突如百の丸の大國旗が掲られた、日の丸だ！　ドツト拳る歓聲！永遠に忘れじこの感激の一瞬

歓迎會

サントス市に於ける神戸丸乗組員歓迎會は全伯在住民の都合で二日と四日の兩日に分けて行われる事になつた

即ち二日はポントダ●ブライアのヴアスコ●ダ●ガマ亭で行われるので會費二百餅都合あつてこれに金加出拳ぬ他の人々は全伯在のグロリ料亭支店で別に歓迎會を催す會費は百五十餅で希望者はなる可く早く各邦字社まで申込れたいと、當日は午前中より船側來賓は出望し各所を見物後歓迎會にのぞむ事になつている

在外事務所び後援者側の希望では短時日の事で招待洩れの方々もあると思ふが其の点を諒とせられて各々誘ひ合わせて是非多數で御出席を乞うと

NOTICIAS DO BRASIL

Diretor Responsável SANEMI HARADA — Diretor Adminis. e Proprietário SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917 — Redação, Administração e Oficina: Rua Heliotropos, 127 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo — N.° 3.099

ANO XXXIV — SÃO PAULO, Sexta-Feira 2 DE MARÇO DE 1951 — Circula às Segundas, Quartas e Sextas

讀者寄稿

新聞の報道や「一年鑑記錄は正確に

ノロエステ生

二月二十日パウリスタ新聞の山根氏追悼會の思い出記事に、同氏が元日伯新聞社長三浦氏と共同でパウリーでセレアイスの仲買云々は、パウルーでホテル業を營んでいた澤尾氏にて山根氏は當時ビリグイに居て、前記二氏にあるひは手傳つたに過ぎないと思ふ、又アグア●リンバの產組云々は全氏は二十五家族と共營の製糖業を爲していたゝめ、會合には見えたがむしろ氏の方へは冷淡であつた、一方安瀨氏の義理の叔父に當る先住者高橋氏は珈琲園の傍ら小さな雜貨店を營んでいたゝめ同志と呼應して反對の態度を取るに至り、初角の計畫もこの憂目に會つて此の夢は遂に畫餅に歸した譯であつたこれは今から三十二三年前、即ち一九一七、八年の頃と記憶する、固より山根氏未亡人は當時まだ日本に在て愛しい夫君の便りを朝夕鶴首して待つていられたことは勿論である

又序でながら香山氏の移民四十年史に、アグア●リンバに日本移民學校云々とあるは、即ち一九一八年下流アグア●リンバに建てられ、その最初の日本語教師は日本で故人となつた佐賀師範出身の原篤氏で、その聖平ブラジル人教師後年、南銀のインスペトールを勤めたオタビオ氏と同時に、エリジオ邦人學校へ向一名任命された公認されたのが、恐らく奎伯邦人學校中その嚆矢であると思ふ

又ビリグイへ日本人の入植は下流アグア●リンバに一九一五年八月サントスより貝原東島、大原、川床氏等の四家族に初まり、日野千原、酒井その他の諸氏は全年來ツピー流域に入植した者で、この点も四十年史に說明と少々違つたところがある

要するに、新聞の報道あるひは年鑑記錄の如きは、その調査を嚴にして、正確を得ることに努める必要がある、然らざれば切角の報道や記錄が何等意味をなさざればかりか、延いては關係當事者としてはその植民地の歷史が事實に反して、將來に誤傳せられることは最も遺憾とするところである、因に筆者はビリグイ植民地の一部を構成していたアグア●リンバ方面の邦人部落の由來及び人事に關し最もよく知悉する一人にしてこの際山根氏追悼會のき事を見て、思い出したまゝを明らかにして、今後この種の誤傳を改める資料に供する事とする

中村嘉壽氏大統領と會談

移民誘入の可能性を打診

世界平和宣傳者として世界に知られる中村嘉壽氏は去る十八日以來奧地旅行を開始しパラナ州クリチーバ市に州統領の訪問を濟ませ、ロンドリーナ市に至るやリオ府より急電に接し二十一日にヴアルガス大統領に謁見するの機會を與えられるに對し奧地旅行を變更して廿日に歸聖廿一日リオ府に再訪問したるが大統領は仝日午後三時に謁見の時間を割當て、三十余名の訪問者のある中を特に四十分以上を劃いて中村氏の陳ぶる所を聽き一々それに明答を與えられたる由なるが、特に日本人移入問題に關し中村氏の云う所を取上げ、パラナ、ゴヤス、マツト●グロッソ州もよからうが、アマゾン地帶は如何かと大統領から切出され、中村氏は「アマゾナス一帶は衛生上不安がないでせうか」と答えられたに對し大統領は即座に「衛生問題なら設備さえするなら何等心配する所はないではないか」とまで熱心振りを示し、一体日本人を伯國に多數移入せしむるには夫れ〴〵機關が必要だが、日本政府がその任に當るのか、會社が扱うのか又或は個人で行るのかと突込んで問われたに對し中村氏は「政府でもなし、會社でもなし、私個人でもありません、政治家は實行に當るよりも指導奬勵を爲すを榮富といたしますから」と答えたところ大統領も默して何も云はなかつたが、取扱い機關が備はつていたなら直ぐにも實行が期來そうに見えたと

尙この外水產業の事に就て中村氏專門の立場から日本人に依つて漁業をやるなら大いに發展の餘地あることも中村氏から大統領に建策する所あつたが、これにも大統領は一々肯いて見せて大滿足の態であつたと

兒童作文募集

一篇四十行以內、なるべく先生に目を通して貰つた作文を寄せ

作文

曉の光

ベラ●クルス譯

新東洋植民地 中村富子（13）

私の村にずつと前から青年の人達のお仕事として「曉の光」といふ機關雜誌が發行されています。それは戰爭の爲に、日本語の勉強が出來なくなりましたので、村の少年少女の勉強の爲に村の皆樣が作つて下さつた私達の最も親しんでいる雜誌です。

この頃は表紙や口畫などもえしく、大變立派になつて、これもみんな青年の人達のお骨折りであると有難く感謝しています。

私はこの頃は「曉の光」に出す綴方や圖畫を書くのが樂しみです。

又家に遲つて來た「曉の光」を見るのも樂しみの一つです。私の家は人數が多いので「曉の光」は引張りだこです。「曉の光」を見ると皆さんは大變良くきれいに書いて居られますのに私のだけが拙いので、お母さんやお姉さん達に笑はれたり叱られたりします。これからは皆んなに負けないようにうんと勉強して「曉の光」に載ぜて貰きたいと思つています。

和洋食料理
手打うどん、すし
日ノ出食堂
コンデ・ド ピニヤール街一八四
中矢商店な隣り

ミツワ旅館
三坂トキ子
サントス市フレイタ・ギマランエス街二三
（メルカード近く）
電話 二、八一〇八番

帰旅館 三笠
サントス市プラス・クーバス街二六四、二六六
電話 二二二九五八 郵函 六五七
小澗友一

Sanatorio Dr. SENNE
腦病治療院ドゥトール センネ
精神病神經病專門
ドトール ロレンソ・センネ
ドトール ムリロ・センネ
マリリア市サン・リオ・パルド街一一五
電話 二二九一

洋服
評判の良い當店で嚴選した生地優秀な御仕立今人氣の焦點
聖市タバチンゲーラ街五八
カーザ パルナイーバ 洋服部
應月賦拂
電話 三二二五九五四

小兒科專門醫
ドゥトール
ソウザ・エ・シルヴァ
日本人助手居り、親切にお世話致します
診療所 リンス市オズワルド●クルース街一七九番二階
自宅 ロドリーグス●フルベス街一八二番
電話 七二番
◇夜間は自宅にお出で下さい

外交員募集
リデランサ債券會社及ムニヨス銀行
至急外交員を雇いたし
一、年齡 滿十八歲以上
二、仕事 債券の勸誘
三、條件 勸誘に對するボルセンタージを支給す、普通月五コントス內外の收入あり
御希望の御方は左記へ直接面談を乞つ
聖市ヴエンセスラウ・ブラス街一七五、五階
眞保英世

募集
青年 一名（二十才位）
女子 一名（二十才前後）
少年 一名（十五、六才位）
右店舖擴張につき募集致します
サンパウロ書店
聖市コンデ・デ・サルゼーダス街四七

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記に移轉いたしました
一層の誠實と勤勉をモツトーとして奉仕いたしますから舊倍の御愛顧を願います
聖市ルア・キンチノ・ボカイウバ
二三一番二階二十一號
グロリア洋服店

CHACARA KATSUKI
農務省公認
優良苗木
△私の信條は本當の百姓が自信のある苗木を一株でも多く賣つて卸値で差上げます、これが私共の最も誇とする處であります
△主なる生產苗
蜜柑苗各種、落葉果樹苗、觀賞樹、柿林苗、珈琲苗、バラ苗、ツツジ、椿、椰子苗、其他
△後日に悔を殘さぬために實際家向は是非當園の優良苗木をお選び下さい
大量生產
ノロエステ線グワイサーラ町 郵函 八〇
香月果樹園

RELOJOARIA KING
Rua Marechal Deodoro, 62
Telef. 109 - C. P. 15 - Araçatuba - N. O. B.
貴金屬細工、蓄音機レコード
目科……貴金屬、時計
業營……贈答用ローヂヤ類一切
その他時計蓄音機の修繕は特別丁寧に致します
キング時計店
店主 鶴田勘作
アラサツーバ市
マレシヤル・デオドロ街六二
電話 一〇九
郵函 一五

建設！建設！
北パラナ ドラード植民地
宮村殖民土地會社
北パラナ、ァプカラナ市マリァ ジャ大通り一二五 郵函一五四
◇弊社第一次計畫たる具体的植民地を區劃りその建設体系により一九五一年度より第一期街地及びシヤカラ地帶を賣出し開始致します
◇十一月廿五日迄に四万圓資却濟、殘部二万圓に就ては一九五二年度地價格變更の上一般賣出しを開始致します

FIGAVITOL 強壯劑
フイガビトール液
食慾不振虛弱兒・產前・產後・病後・總ベテ長弱ニ貫腸肝臟脾臟活動エキス・強力ヴタミンB.C.E.鐵分總合ノ
ペ・セ・ペ印製藥
聖パウリスタ市製藥會社
PCP

新入荷案內
S
SEED
FUJITA SEED CO. LTD.
OSAKA
一九五〇年收穫
藤田の種子
純日本種
一、美濃九日大根
一、美濃四倍大根
一、宮重大根
一、時無大根
一、圓護院大根
一、練馬大根
一、山東白菜
一、結球白菜
一、朝鮮白菜
一、杓子菜
一、ホーレン草
一、フダン草
一、圓護院蕪
一、錦大和西瓜
一、青大胡瓜
一、中長茄子
一、中生サクセツソン甘藍
北米種
一、セノウラ●メイア●コンブリーダ
一、レボーリヨ●シヤツト●キンタール
◇地方幣店取次店にて「フジタの種子」と御指命下さい
聖市 羽瀨商店
郵函 八〇五二
電話 三二二一五七五